



The Wave Front TillerClutch™

Owner's Guide

販売元: ゆうこうマリン株式会社
〒714-0301 岡山県笠岡市北木島町13229-17
TEL(FAX): 0865-68-2121(23)
mail: info@yuukoumarine.jp

操作方法

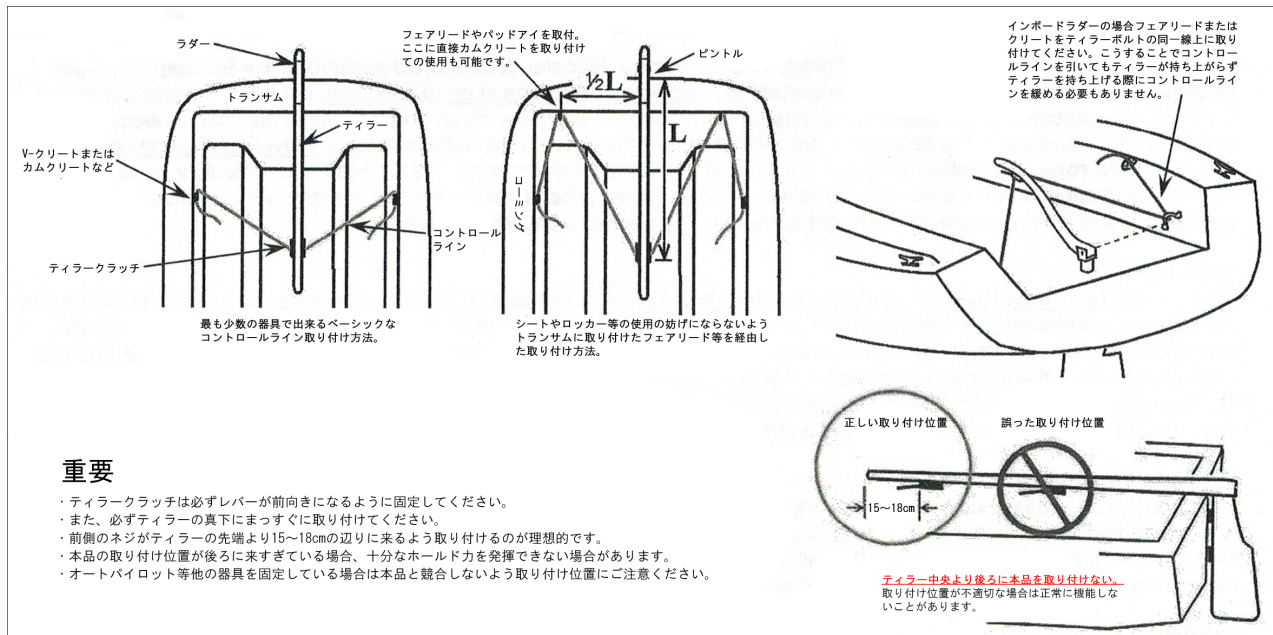
本品を適切にお取り付け頂いていれば非常に簡単な操作で本品をお使い頂く事ができます。
操作レバーを下に下げるとクラッチが本品に通されたコントロールラインを固定し、ティラーをホールドします。
下げたレバーをゆっくり握ることでコントロールラインは一時的にリリースされ、船のコース調整等を簡単に行うことが出来ます。
握ったレバーを離すことでクラッチは再度コントロールラインを固定します。
レバーをしっかり握ることでクラッチが完全にリリースされ、自由に操船が出来るようになります。
ティラーがセンターに来ている状態でコントロールラインにたわみや引っばりがないように固定してください。

取付け方法

2本のネジで簡単に取り付けが可能です。分解、組み立て等は必要ありません。
角形、丸形いずれのティラーにも取付けられるようにデザインされております。
本品はティラーの下側に、レバーが前向きになるように固定し、ティラーを持つ手が届きやすい位置に調整してください。
前側のネジがティラー先端より15~18cmの辺りに来るよう取付けるのが理想的です。
最適な取り付け位置を決める為にホースクランプ等で本品を仮留めし、使いやすい位置を確認して頂くことをお勧め致します。

本品の取付けに必要な工具と部品

- ・ No.2 プラスドライバー
- ・ (アルミニウム製のティラーへの取り付け時のみ) Locktite® red ※ オートショップやホームセンターでお求め下さい。
- ・ 電動ドリル
- ・ 1/8" (3.2mm) ドリルビット ※ 木製、ステンレス製ティラー共通
- ・ 鉛筆
- ・ ティラーの付け外しに必要な工具 ※ 本品をお取付けになる際はティラーを一旦外すことをお勧め致します。



ネジの種類

本品には45mmのネジが付属していますが、別のネジをお使い頂くことも出来ます。
必ずマリンショップ、工具店等でマリングレードの#8(4.2mm)ステンレス製ネジをお買い求め下さい。

取り付けの準備

取り付け位置が決まりましたら鉛筆等で軽く取り付け位置に印をつけて下さい(この時点でティラーを外して頂くことをお勧め致します)。
パッドを敷いた作業台の上にティラーを上下逆さまに置き本品を印に合わせて乗せます。
レバーが前向きになっている事を確認し、本品の取り付け面に沿って四角い印をつけます。
ネジ穴にネジを入れ、ドライバーの背等で叩いてネジ穴の印をつけます。
ネジをドリルで固定する前に必ず本品を取り外して頂き、決して本品をドリル時のガイドとして使用しないでください。

本品の取り付け(木製ティラーの場合)

3.2mmのドリルビットで深さ12mmの穴を開けてください。

ネジでつけた目印が中央に来るように、またティラー表面に対して垂直になるよう注意してください。

手動ドライバーを使い、ネジで本品を固定してください。

本品の取り付け(アルミニウム製ティラーの場合)

センターパンチを使いドリルビットが目印の中央に来るように印を付けます。

センタリングに注意しながらドリルで穴を開けます。強度低下と腐食を防ぐため、表層を貫通した時点でドリルを止めて下さい。

ネジ留めの前にLocktite®をネジに塗り、締め過ぎに注意しながら本品を固定して下さい。

コントロールラインのポートへの取り付け

コントロールラインは両舷のコーミングおよびトランサムに十分届くように固定します。

操船がしやすいよう、シートやロッカー使用の妨げにならないよう、またトランサムへの移動がしやすいように配置してください。

最もシンプルなレイアウト(1ページ目左図)はコーミングのティラー横か少し後ろにカムクリート等を取付けます。

トランサムにフェアリードやパッドアイ等を固定し、ラインを“W”の形にセットすればシートやロッカー使用の邪魔になりません。

小型艇であればトランサムに直接カムクリート等を固定してコントロールラインをセットすることも出来ます。

トランサムに器具を固定する場合、1ページ目中央図のようにクラッチからピントルまでの長さ(L)の半分の長さで固定してください。

器具の固定にネジを使用した場合、かならずシーリング処理を行って下さい。

ティラーパイロットご使用時の注意

本品はティラーパイロットを使用しているティラーにも干渉することなくお取付け頂くことが出来ます。

ティラーパイロットを使用していないときは本品をそのままお使い頂く事も可能です。

ティラーパイロット作動中には決して本品でコントロールラインを固定することの無いよう十分ご注意ください。

メンテナンスについて

本品は一般的な艀装品同様荷重や摩耗に耐えうるよう設計されており、簡単なメンテナンスで長期間に渡りご使用頂けます。

定期的に以下のメンテナンスを実施してください。

コントロールラインの取り替え

本品は5mmのダブルブレイドヨットロープの使用を想定して設計されております。

FSE ROBLINEのオリオン500等安価なものからディングーコントロール等のハイクローブまでお好みでお選びください。

弱ったロープは強度が低下する他、もつれたり絡まる等のトラブルを起こしやすくなるため、定期的に取り替えてください。

ご自身がお持ちのロープをコントロールライン用にカットする場合は、エンド処理部分が太くならないようご注意ください。

切る前に切りたい部分を紙テープで覆った後鋭い刃物で切断し、ライター等で熱処理をした上で紙テープを剥がします。

ご自身で作業される際はやけどや煙の吸い込みに十分ご注意ください。

お手入れ

溶剤系の潤滑剤や洗浄剤は決して使用しないでください。

本品には自己潤滑ブッシングが使用されており、溶剤によってこれが損傷する場合があります。

上記による本品の破損は保証の対象ともなりませんので十分ご注意下さい。

洗浄の際は真水の流水をかけ、レバーを動かして本品内部まで水洗いしてください。必要に応じて石けんをご使用下さい。

砂や塩の結晶による詰まりを防ぐため、これらが付着した場合はすぐに洗い流して下さい。

クラッチのスリップ性(緊急時の安全機構)

荒天時等ティラーに過負荷がかかった際の破損を防ぐよう本品のクラッチはある程度滑るよう設計されています。

この滑りにより操船者は緊急時に不意の操作を必要とする場合もラダーを動かす事ができます。

クラッチが固定状態のまま無理にティラーを動かしても本品が破損することはありません。

しかしこうした操作はコントロールラインを著しく傷める場合がありますので、緊急時以外はクラッチをリリースしてお使いください。

内部パーツについて

本品にはお客様がご自身で交換、修理可能なパーツはございません。

本品はステンレスリベットで固定されており、このリベットを外しての分解は非常に危険です。また保証も適用出来なくなります。

本品は長期間に渡りトラブルなくご使用頂けるよう設計されておりますが、万が一の場合は販売元までお問い合わせ下さい。